

【第1部】基礎編（Q1～Q20）

- Q1. 答え：**並行の接続助詞「ながら」（～しながら） **解説：**「歩き」は四段「歩く」連用形。歩く動作と歌う動作が同時。「歩きながら歌う」。並行。
- Q2. 答え：**状態継続の接続助詞「ながら」（～のまま） **解説：**「昔」は体言。元の状態がそのまま続く。「昔のままの家」。状態継続。
- Q3. 答え：**逆接の接続助詞「ながら」（～のに・けれども） **解説：**「子供」は体言。前後が対立（子供なのに賢い）。「子供であるのに賢い」。逆接。
- Q4. 答え：**並行の接続助詞「ながら」（～しながら） **解説：**「泣き」は四段「泣く」連用形。泣く動作と語る動作が同時。「泣きながら語る」。並行。
- Q5. 答え：**状態継続の接続助詞「ながら」（～のまま） **解説：**「生まれ」は下二段「生まる」連用形だが、「生まれながら」で「生まれたそのまま」の状態継続。「生まれつきの性質」。状態継続。
- Q6. 答え：**逆接の接続助詞「ながら」（～のに・けれども） **解説：**「知り」は四段「知る」連用形。前後が対立（知っているのに告げない）。「知っているのに告げない」。逆接。
- Q7. 答え：**並行の接続助詞「ながら」（～しながら） **解説：**「見」は上一段「見る」連用形。見る動作と涙する動作が同時。「見ながら涙を流す」。並行。
- Q8. 答え：**状態継続の接続助詞「ながら」（～のまま） **解説：**「我」は体言。「我ながら」で「自分自身でありながら（自分のことながら）」。慣用的に状態継続。「我ながらあきれる」。状態継続。
- Q9. 答え：**並行の接続助詞「ながら」（～しながら） **解説：**「笑ひ」は四段「笑ふ」連用形。笑う動作と言う動作が同時。「笑いながら言う」。並行。
- Q10. 答え：**逆接の接続助詞「ながら」（～のに・けれども） **解説：**「女」は体言。前後が対立（女なのに気が強い）。「女であるのに気丈だ」。逆接。
- Q11. 答え：**状態継続の接続助詞「ながら」（～のまま） **解説：**「居」は上一段「居る」連用形。「居ながら」で「座ったまま・その場にいたまま」。「家にいたままで知る」。状態継続。
- Q12. 答え：**並行の接続助詞「ながら」（～しながら） **解説：**「走り」は四段「走る」連用形。走る動作と叫ぶ動作が同時。「走りながら叫ぶ」。並行。
- Q13. 答え：**逆接の接続助詞「ながら」（～のに・けれども） **解説：**「貧し」は形容詞「貧し」の語幹（シク活用では終止形と同じ形）。前後が対立（貧しいのに清らか）。「貧しいけれども清らかだ」。逆接。
- Q14. 答え：**並行の接続助詞「ながら」（～しながら） **解説：**「立ち」は四段「立つ」連用形。立つ（立っている）動作と物を言う動作が同時。「立ったまま物を言う」。並行（状態継続に近いが、動作の同時性で並行）。
- Q15. 答え：**状態継続の接続助詞「ながら」（～のまま） **解説：**「身」は体言。「もとの身ながら」で「もとの身のまま」。状態継続。
- Q16. 答え：**並行の接続助詞「ながら」（～しながら） **解説：**「聞き」は四段「聞く」連用形。聞く動作と書く動作が同時。「聞きながら書く」。並行。
- Q17. 答え：**逆接の接続助詞「ながら」（～のに・けれども） **解説：**「老い」は上二段「老ゆ」連用形。前後が対立（老いているのに盛ん）。「老いているけれどもなお元気だ」。逆接。
- Q18. 答え：**状態継続の接続助詞「ながら」（～のまま） **解説：**「つね」は体言。「つねながら」で「いつものまま」。状態継続。

Q19. 答え：並行の接続助詞「ながら」(～しながら) **解説：**「食ひ」は四段「食ふ」連用形。食う動作と話す動作が同時。「食べながら話す」。並行。

Q20. 答え：逆接の接続助詞「ながら」(～のに・けれども) **解説：**「賤し」は形容詞「賤し」の語幹(シク活用では終止形と同じ形)。前後が対立(身分は低いのに心は高い)。「身分は低いけれども心は気高い」。逆接。

【第2部】標準編 (Q21～Q50)

Q21. 答え：並行の接続助詞「ながら」(～しながら) **解説：**「流し」は四段「流す」連用形。涙を流す動作と祈る動作が同時。「涙を流しながら祈る」。並行。

Q22. 答え：状態継続の接続助詞「ながら」(～のまま) **解説：**「昔」は体言。「昔のままの都」。状態継続。

Q23. 答え：逆接の接続助詞「ながら」(～のに・けれども) **解説：**「思ひ」は四段連用形。前後が対立(不愉快だと思ふのにもてなす)。「氣にくわないと思ひながらも(思ふのに)応対する」。逆接。

Q24. 答え：並行の接続助詞「ながら」(～しながら) **解説：**「吹き」は四段「吹く」連用形。笛を吹く動作と行く動作が同時。「笛を吹きながら行く」。並行。

Q25. 答え：状態継続の接続助詞「ながら」(～のまま) **解説：**「身一つ」は体言。「我が身一つのまま」。状態継続。

Q26. 答え：逆接の接続助詞「ながら」(～のに・けれども) **解説：**「こと」は体言(直前は連体形「ぬ」+こと)。前後が対立(知らないことなのに答える)。「知らないことであるのに答える」。逆接。

Q27. 答え：並行の接続助詞「ながら」(～しながら) **解説：**「思ひ」は四段連用形。物思いをする動作と寝る動作が同時(物思いにふけりながら寝る)。並行。

Q28. 答え：逆接の接続助詞「ながら」(～のに・けれども) **解説：**「帝」は体言。前後が対立(帝であるのに驕らない)。「帝であるのに驕りなさない」。逆接。

Q29. 答え：並行の接続助詞「ながら」(～しながら) **解説：**「つき」は四段「つく」連用形。杖をつく動作と歩む動作が同時。「杖をつきながら歩む」。並行。

Q30. 答え：状態継続の接続助詞「ながら」(～のまま) **解説：**「ありし」は連体形(過去)。「ありしながら」で「以前あったそのまま」。状態継続。

Q31. 答え：逆接の接続助詞「ながら」(～のに・けれども) **解説：**「思ひ」は四段連用形。前後が対立(思っているのに言えない)。「心に思っているのに言うことができない」。逆接。

Q32. 答え：並行の接続助詞「ながら」(～しながら) **解説：**「し」はサ変「す」連用形(うたた寝す)。うたた寝する動作と夢見る動作が同時。並行。

Q33. 答え：状態継続(両方とも)の接続助詞「ながら」 **解説：**「二つ」は数詞(体言)。「二つながら」で「二つとも・両方そのまま」。状態継続(数量に付いて「ともに」の意)。「二つとも手に入れた」。

Q34. 答え：逆接の接続助詞「ながら」(～のに・けれども) **解説：**「賢し」は形容詞「賢し」の語幹(シク活用では終止形と同じ形)。前後が対立(賢いのに用いられない)。「賢いけれども登用されない」。逆接。

Q35. 答え：並行の接続助詞「ながら」(～しながら) **解説：**「舞ひ」は四段「舞ふ」連用形。舞う動作と袖を返す動作が同時。「舞いながら袖を返す」。並行。

Q36. 答え：状態継続の接続助詞「ながら」(～のまま) **解説：**「姿」は体言。「もとの姿のまま」。状態継続。

Q37. 答え：逆接の接続助詞「ながら」(～のに・けれども) **解説：**「あり」はウ変連用形。前後が対立(罪があるのに許される)。「罪があるのに許される」。逆接。

Q38. 答え：並行の接続助詞「ながら」(～しながら) **解説：**「見」は上一段連用形。月を見る動作と酒を飲む動作が同時。「月を見ながら酒を飲む」。並行。

Q39. 答え：逆接の接続助詞「ながら」（～のに・けれども） **解説：**「男」は体言。前後が対立（男であるのに優美だ）。「男であるのに優美だ」。逆接。

Q40. 答え：状態継続の接続助詞「ながら」（～のまま） **解説：**「涙」は体言。「涙ながらに」で「涙を流したまま・涙とともに」。状態継続（慣用表現）。「涙ながらに語る」。

Q41. 答え：並行の接続助詞「ながら」（～しながら） **解説：**「言ひ」は四段連用形。物を言う動作と笑む動作が同時。「物を言いながらほほえむ」。並行。

Q42. 答え：逆接の接続助詞「ながら」（～のに・けれども） **解説：**「老法師」は体言。前後が対立（老法師なのに力がある）。「年老いた法師であるのに力がある」。逆接。

Q43. 答え：並行の接続助詞「ながら」（～しながら） **解説：**「申し」は四段「申す」連用形。念仏を申す動作と死ぬ動作が同時（念仏を唱えながら息絶える）。並行。

Q44. 答え：状態継続の接続助詞「ながら」（～のまま） **解説：**「まま」は体言。「もとのままながら」で「もとのまま、その状態で」。状態継続。

Q45. 答え：逆接の接続助詞「ながら」（～のに・けれども） **解説：**「知り」は四段連用形。前後が対立（知っているのに知らないふりをする）。「知っているのに知らないふりをする」。逆接。

Q46. 答え：並行の接続助詞「ながら」（～しながら） **解説：**「引き」は四段「引く」連用形。弓を引く動作と馬を駆る動作が同時。並行。

Q47. 答え：状態継続の接続助詞「ながら」（～のまま） **解説：**「着」は上一段「着る」連用形。「着ながら」で「着たまま」。「衣を着たまま寝る」。状態継続（着た状態のまま）。

Q48. 答え：逆接の接続助詞「ながら」（～のに・けれども） **解説：**「通ひ」は四段「通ふ」連用形。前後が対立（心は通っているのに逢えない）。「心は通い合っているのに逢えない」。逆接。

Q49. 答え：並行の接続助詞「ながら」（～しながら） **解説：**「うつぶし」は四段「うつぶす」連用形。うつ伏せる動作と泣く動作が同時（うつ伏せたまま泣く）。並行。

Q50. 答え：逆接の接続助詞「ながら」（～のに・けれども） **解説：**「身」は体言。前後が対立（自分の身であるのに思い通りにならない）。「我が身であるのに心のままにならない」。逆接。

【第3部】応用編（Q51～Q80）

Q51. 答え：状態継続の接続助詞「ながら」（～のまま） **解説：**「昔」は体言。「昔のままの山里」。状態継続。

Q52. 答え：逆接の接続助詞「ながら」（～のに・けれども） **解説：**「知り」は四段連用形。前後が対立（自分で知っているのに改めない）。「自分で（欠点を）知っているのに改めない」。逆接。

Q53. 答え：並行の接続助詞「ながら」（～しながら） **解説：**「うたひ」は四段「うたふ」連用形。歌う動作と漕ぐ動作が同時。「歌を歌いながら漕ぐ」。並行。

Q54. 答え：固有名詞「長柄」（接続助詞「ながら」ではない） **解説：**「長柄」は摂津の地名（歌枕）。接続助詞「ながら」とは別物。「長柄の橋」は名所。固有名詞なので識別の対象外。

Q55. 答え：状態継続（三つとも）の接続助詞「ながら」 **解説：**「三つ」は数詞（体言）。「三つながら」で「三つとも」。状態継続（数量に付いて「ことごとく」の意）。「三つとも失われた」。

Q56. 答え：逆接の接続助詞「ながら」（～のに・けれども） **解説：**「病ひ」は体言（または「病む」連用形）。前後が対立（病気なのに勤める）。「病気でありながら勤めて仕える」。逆接。

Q57. 答え：並行の接続助詞「ながら」（～しながら） **解説：**「ささやき」は四段「ささやく」連用形。ささやく動作と過ぎる動作が同時。「ささやきながら通り過ぎる」。並行。

Q58. 答え：状態継続の接続助詞「ながら」（～のまま） **解説：**「起き」は上二段「起く」連用形。「起きながら」で「起きたまま」。「起きたまもうとうとする」。状態継続。

Q59. 答え：逆接の接続助詞「ながら」（～のに・けれども） **解説：**「染み」は上二段「染む」連用形。前後が対立（心に染みているのに表に出さない）。「心に深く感じているのに顔色には出さない」。逆接。

Q60. 答え：並行の接続助詞「ながら」（～しながら） **解説：**「灯し」は四段「灯す」連用形。火を灯す動作と読む動作が同時。「火を灯しながら読む」。並行。

Q61. 答え：逆接の接続助詞「ながら」（～のに・けれども） **解説：**「在り」はう変連用形。前後が対立（生きているのに死んだようだ）。「生きているのに死んだも同然だ」。逆接。

Q62. 答え：状態継続の接続助詞「ながら」（～のまま） **解説：**「細々」は副詞・状態を表す語。「細々ながら」で「細々とした状態のまま」。状態継続。

Q63. 答え：並行の接続助詞「ながら」（～しながら） **解説：**「行き」は四段「行く」連用形。道に行く動作と歌を詠む動作が同時。「道を歩きながら歌を詠む」。並行。

Q64. 答え：状態継続の接続助詞「ながら」（～のまま） **解説：**「われ」は体言。「われながら」で「自分のことながら」。慣用的に状態継続。「我ながら下手だ」。状態継続。

Q65. 答え：逆接の接続助詞「ながら」（～のに・けれども） **解説：**「あり」はう変連用形。前後が対立（高位にあるのに驕らない）。「高い位にありながら驕らない」。逆接。

Q66. 答え：並行の接続助詞「ながら」（～しながら） **解説：**「念じ」はサ変「念ず」連用形。我慢する動作とこらえる動作が同時（祈り・我慢しつつこらえる）。並行。

Q67. 答え：状態継続の接続助詞「ながら」（～のまま） **解説：**「まま」は体言。「昔のままながら」で「昔のままの状態で」。状態継続。

Q68. 答え：逆接の接続助詞「ながら」（～のに・けれども） **解説：**「身」は体言。前後が対立（身分は低いのに志は高い）。「卑しい身であるのに志は高い」。逆接。

Q69. 答え：並行の接続助詞「ながら」（～しながら） **解説：**「たたき」は四段「たたく」連用形。手をたたく動作と笑う動作が同時。「手をたたきながら笑う」。並行。

Q70. 答え：状態継続の接続助詞「ながら」（～のまま） **解説：**「居」は上一段「居る」連用形。「居ながら」で「その場にいたまま」。「家にいたままで世の中を知る」。状態継続。

Q71. 答え：逆接の接続助詞「ながら」（～のに・けれども） **解説：**「痩せ」は下二段「痩す」連用形。前後が対立（痩せ衰えているのに働く）。「痩せ衰えているけれどもなお働く」。逆接。

Q72. 答え：並行の接続助詞「ながら」（～しながら） **解説：**「吹き」は四段連用形。笛を吹く動作と馬に乗る動作が同時。並行。

Q73. 答え：状態継続の接続助詞「ながら」（～のまま） **解説：**「寝」は下二段「寝（ぬ）」連用形。「寝ながら」で「横になったまま」。「横になったまま聞く」。状態継続。

Q74. 答え：逆接の接続助詞「ながら」（～のに・けれども） **解説：**「あり」はう変連用形。前後が対立（才能があるのに知られない）。「学才があるのに世に知られない」。逆接。

Q75. 答え：並行の接続助詞「ながら」（～しながら） **解説：**「繰り」は四段「繰る」連用形。数珠を繰る動作と経を読む動作が同時。並行。

Q76. 答え：状態継続の接続助詞「ながら」（～のまま） **解説：**「心」は体言。「もとの心のまま」。状態継続。

Q77. 答え：逆接の接続助詞「ながら」（～のに・けれども） **解説：**「人」は体言。前後が対立（知らない人なのに親しい）。「見知らぬ人であるのに親しく感じる」。逆接。

Q78. 答え：並行の接続助詞「ながら」（～しながら） **解説：**「し」はサ変「す」連用形（物語す）。物語をする動作と夜更かしする動作が同時。並行。

Q79. 答え：状態継続（五つとも）の接続助詞「ながら」 **解説：**「五つ」は数詞（体言）。「五つながら」で「五つとも」。状態継続（数量に付いて「全部」の意）。「五つとも揃う」。

Q80. 答え：逆接の接続助詞「ながら」（～のに・けれども） **解説：**「者」は体言。前後が対立（身分の低い者なのに情けがある）。「身分の低い者であるのに人情がある」。逆接。

【第4部】入試レベル（Q81～Q100）

Q81. 答え：並行の接続助詞「ながら」（～しながら） **解説：**「見」は上一段連用形。紅葉を見る動作と過ぎる動作が同時。「紅葉を見ながら通り過ぎる」。並行。

Q82. 答え：状態継続の接続助詞「ながら」（～のまま） **解説：**「昔」は体言。「昔のままの御簾」。状態継続。

Q83. 答え：逆接の接続助詞「ながら」（～のに・けれども） **解説：**「身」は体言。前後が対立（出家の身なのに俗世を捨てない）。「出家の身であるのに世俗を捨てきれない」。逆接。

Q84. 答え：並行の接続助詞「ながら」（～しながら） **解説：**「流し」は四段連用形。涙を流す動作と帰る動作が同時。「道々涙を流しながら帰る」。並行。

Q85. 答え：状態継続の接続助詞「ながら」（～のまま） **解説：**「世」は体言。「ありし世ながら」で「昔あった時のままの」。状態継続。「昔のままのような気持ちがする」。

Q86. 答え：逆接の接続助詞「ながら」（～のに・けれども） **解説：**「思ひ」は四段連用形。前後が対立（恋しいと思うのに便りもしない）。「恋しいと思っているのに便りもしない」。逆接。

Q87. 答え：並行の接続助詞「ながら」（～しながら） **解説：**「手折り」は四段「手折る」連用形。花を手折る動作と歌を詠む動作が同時。並行。

Q88. 答え：状態継続の接続助詞「ながら」（～のまま） **解説：**「すがた」は体言。「もとのすがたのまま現れる」。状態継続。

Q89. 答え：逆接の接続助詞「ながら」（～のに・けれども） **解説：**「思ひ」は四段連用形。前後が対立（思っているのに便りをしない）。「心では忘れず思っているのに便りをしない人」。逆接。

Q90. 答え：並行の接続助詞「ながら」（～しながら） **解説：**「こぎ」は四段「こぐ」連用形。舟を漕ぐ動作と遠ざかる動作が同時。「舟を漕ぎながら遠ざかる」。並行。

Q91. 答え：逆接の接続助詞「ながら」（～のに・けれども） **解説：**「知り」は四段連用形。前後が対立（知っているのに尋ねる）。「知っているのに尋ねる」。逆接。

Q92. 答え：状態継続の接続助詞「ながら」（～のまま） **解説：**「われ」は体言。「われながら」で「自分のことながら」。慣用的に状態継続。「我ながら情けない」。状態継続。

Q93. 答え：並行の接続助詞「ながら」（～しながら） **解説：**「見」は上一段連用形。月を見る動作と夜を明かす動作が同時。「月を見ながら夜を明かす」。並行。

Q94. 答え：逆接の接続助詞「ながら」（～のに・けれども） **解説：**「見」は上一段連用形。前後が対立（気の毒だと見るのに助けられない）。「気の毒だと見ているのに助けることができない」。逆接。

Q95. 答え：状態継続の接続助詞「ながら」（～のまま） **解説：**「着」は上一段「着る」連用形。「着ながら」で「着たまま」。「衣を着たまま横になる」。状態継続。

Q96. 答え：逆接の接続助詞「ながら」（～のに・けれども） **解説：**「あり」はウ変連用形。前後が対立（大臣の位にあるのに質素だ）。「大臣の位にありながら質素だ」。逆接。

Q97. 答え：並行の接続助詞「ながら」（～しながら） **解説：**「読み」は四段連用形。経を読む動作と涙を落とす動作が同時。「経を読みながら涙を落とす」。並行。

Q98. 答え：状態継続の接続助詞「ながら」（～のまま） **解説：**「所」は体言。「もとの所のまま（同じ場所のまま）荒れてしまった」。状態継続。

Q99. 答え：逆接の接続助詞「ながら」（～のに・けれども） **解説：**「老い」は上二段「老ゆ」連用形。前後が対立（老いているのに世を惜しむ）。「年老いているのに（なお）世を名残惜しむ」。逆接。

Q100. 答え：並行の接続助詞「ながら」（～しながら） **解説：**「むせび」は四段「むせぶ」連用形。涙にむせぶ動作と書く動作が同時。「涙にむせびながら書く」。並行。